

第10回佐賀大学総合分析実験センターセミナー



フローサイトメトリー解析の前に...

単細胞調製と細胞分離のゴールドスタンダード -gentleMACS Dissociator & autoMACS Pro Separator-

- ▶日時: 2018年12月18日(火) 16:00~17:00
- ▶場所: 医学部院生研究棟 2階 2287室 セミナー室
- ▶演者: ミルテニーバイオテク(株)・臨床開発部
中山創平 (理学博士)

共同利用機器にMACSQuant Analyzerフローサイトメーター(FCM)があることをご存知でしょうか。FCMは、数万もの細胞の特性をわずかな時間で測定できることから、免疫・幹細胞・がん研究など、医学・生物学研究全般に非常に役立つツールです。

FCM解析に用いる生体サンプルは、血球系細胞のような、すでに単細胞状態であるものだけではありません。組織・器官の構成しているものでもFCM解析することができます。しかし、そのようなサンプルを単細胞化(分散)する場合、



- (1)できるだけ多くの単細胞を得ること
- (2) 生きのいい(生存率の高い)細胞を得ること
- (3)再現性良く細胞を得ること

が重要です。



また、このように分散されたサンプルは、多種多様な細胞集団からなり、下流の実験によっては、ヘテロな集団から目的とする細胞を単離・濃縮(分離)することでより詳細な研究デザインを組むことが可能となります。このときにも上述の3つの項目は重要となります。

今回ご紹介させていただく、**gentleMACS Octo Dissociator with Heaters** および **autoMACS Pro Separator** はそれぞれ分散・分離を行う際の3つの条件を満たす機器です。これらの機器およびMACSQuant Analyzerを用いることで、生サンプルからFCM解析までの手法の標準化・簡略化することができます。また、これら機器の紹介に加えて、腫瘍・神経分野における細胞研究やシングルセルゲノム解析の例をご紹介させていただきたいと思えます。

いままでFCM解析を行ってこられなかった方、組織・器官を研究していらっしゃる方、すこしでもFCM解析に興味をおもちの方はぜひ!

相談・測定受付

日時: 12/18(火) ①13:30 -15:00

12/19(水) ②10:30 -12:00 ③13:30 -15:00 ④15:30 -17:00

場所: 医学部院生研究棟 2階 2287室 セミナー室